

令和7年度外部評価 文化財啓発事業 文化振興課



1 事業内容

- ・小中学校出前授業、夏休み子ども考古学講座・あおぞら歴史教室など各世代への働きかけ
- ・事業を協働する文化財ボランティア等の人材育成



小学校出前授業（桜林小学校）



夏休み子ども考古学講座
（西尾市と共催）



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 事業の目的

- ・文化財に理解を深めるための普及・啓発活動を通じて、市独自の歴史性に共感いただく！
- ・若年層では市の歴史文化に興味を持つことで地域アイデンティティが形成されるように、その他の世代では知的好奇心を深めることで社会教育・生涯学習の役割を担う！



安祥文化のさとまつり・歴史のひろば展
（市内小中学校の社会科自由研究作品展）



あおぞら歴史教室（名古屋市）



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

3 なぜ必要なのか？

【市民ニーズから】

- ・地域の歴史や文化を学ぶ機会を増やしてほしい
- ・伝統芸能などの地域の文化継承のため、地域からも期待と要望

【行政が行う必要性】

- ・歴史と文化の理解と継承、実戦的な学びの場の提供
- ・民間・地域住民・市民ボランティアなどさまざまな立場の多角的な繋がりのある講座を企画できる



4 実施状況（活動実績）

事業名	内容（開始時期）	参加人数（人）※のべ		
		R4	R5	R6
あおぞら歴史教室	市内歴史遺産の理解を深める見学ツアー（S40代～）	35	56	57
土器づくり教室	土器づくりボランティアと協働。弥生時代の土器作りを再現（H17～）※参加人数は見学者等を含む	179	625	966
夏休み子ども考古学講座	小中学生を対象とした、石器づくりや塩づくりなど実践型の体験（H18～）	87	166	167
安祥文化のさとまつり	安祥文化のさと一体のイベント。市内小中学生の社会科自由研究作品展、指定無形民俗文化財・歴史団体の発表の場の提供（H18～）	6,289	5,371	5,876
史跡を巡るバスツアー	安城ふるさとガイドボランティアと協働。身近な歴史遺産を伝え理解者を増やしながらガイドも養成（H30～）	36	76	72

※このほか、出前授業・講座、発掘調査現地説明会（随時）があります。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

5 事業費

事業費区分	R4年度 (決算)	R5年度 (決算)	R6年度 (決算)	R7年度 (予算)
事業費	6,091	3,310	2,551	3,628
報償金・旅費	1,515	1,017	881	980
需用費	2,395	1,869	1,362	1,994
役務費	47	60	0	37
委託料	1,738	198	121	341
使用料及び賃借料	396	166	187	276

※R4は市制70周年事業「西三河棒の手交流大会」、NHK大河ドラマ「どうする家康」関連イベントを実施



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

6 事業の見直しー高校生Youtube事業-

(1) 事業内容

令和4年度から、市制施行70周年記念事業及びNHK大河ドラマ「どうする家康」のシティプロモーションを契機として、「市内高校による安城の歴史紹介YouTube制作」を開始。

(2) 事業の成果

- ・令和4～6年度にかけて計18本のYoutubeを制作。
- ・市発展祭・アンフォーレなどで動画を紹介、高校生の活動の周知に努める。



(3) 事務事業総点検の評価（令和6年度）

- ・事業を廃止し、発展的に見直しを行う。
- ・事業の効果、記念事業の役割の終了等を踏まえ、若年層との関わり方を別の方法で検討する。



7 新規事業の開始-安城市ジュニアキュレーター講座

(1) 事業目的・想定される効果

- ・子どもたちのシビックプライドの醸成
- ・同世代との交流を通じて将来のキャリア選択の幅を広げる
- ・参加者の繋がりから家族・友達への広がり

(2) 前事業の課題の克服

- ・歴史文化に興味を持つ小学5年生から中学生の個人を対象
- ・自ら学び発信する主体的な学びを促進
- ・本事業に関わる講師、地域住民やボランティアも含めた多角的な連携



7 新規事業の開始

(3) 今年度の取組み

- ・安城市の歴史・文化、特に本證寺を題材とする
 - ・現役アナウンサーを講師としてコミュニケーション技術も身に付ける
- 史跡ガイドができる子ども学芸員としてデビューが最終目標です！

参加人数15人（想定10人程度）。
全7回講座で、5月からこれまでに6回実施。



7 新規事業の開始

(4) 今後の展望

- ・本市ゆかりの題材を増やす（安城松平家、桜井古墳群など）
 - ・講座に参加してくれた子どもたちに継続的なフォローアップ
 - ・長期的な視点で世代間の幅や家族の繋がりを広げる
- ※講座内容・回数等についてはより効果的な時期等を検討。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

8 活動指標・成果指標

【活動指標】成果を達成するために必要な活動とその量

指標	令和 6 年度 (実績)	令和 7 年度 (実績)	令和 8 年度 (目標)
ジュニアキュレーター講座（回数）	未実施	7	7
ジュニアキュレーター講座参加者（人）	未実施	15	20

【成果指標】この事業が目指す姿と目標値

指標	令和 6 年度 (実績)	令和 7 年度 (目標)	令和 8 年度 (目標)
安城市の文化・歴史に愛着や誇りを感じる人の割合（％） （第 9 次総合計画：2023年度実績、43.5％）隔年でアンケート	未実施	44	未実施予定
若年層を対象とした文化財啓発事業参加者数（人）	791	900	1,000



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

9 事業全体の課題

- ・出前講座（学校・市内施設）は、歴史遺産に触れる機会ではあれど、受動的で不定期開催。
 - ・歴史遺産に触れ、その価値や魅力を共有するためには、定期的な講座や情報発信、能動的な参加が重要。
- そのためにも好評いただいている講座の継続のほか、新たな事業展開が課題。



10 外部評価の論点

文化財啓発事業としての新規講座を定期的を実施することで、歴史遺産に触れる新たな機会を創出します。特に、若年層に対する文化財啓発事業は、将来にわたる文化遺産を守り伝えるための重要な取組みであるため、出前授業の継続的な実施のための働きかけはもちろんのこと、今年度からジュニアキュレーター講座のような子どもたちの能動的な活動を支える取組みが必要だと認識して実施しています。

⇒外部評価の論点としては、これらの取組みをさらに効果的にする方策をご指導いただきたいと考えています。

